

事務事業マネジメントシート(平成28年度実績と平成29年度計画)

平成29年 6月 1日更新

事務事業名		市有林保育事業		<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	1	自治の健康	所属部	事業部	課長名	塚本 健洋
	施策	2	行政改革の推進	所属課	農政課	担当者名	西本 尚弘
	施策の柱	12	公有財産の管理運営	所属班	農政班	(内線)	1174
予算科目	会計一般	款6	項2	目1	事業連番11150	根拠法令	成果優先度評価結果 : ① コスト削減優先度評価結果 : ⑥
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 28年度で終了 <input type="checkbox"/> 28年度から開始			事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	<ul style="list-style-type: none"> ・市有林の保育に関する事務、伐採等の委託。 ・植樹した樹木の成長と伴に、下草刈、枝打ち、間伐等が必要となった。 ・樹木は順調に育っているが、輸入材価格が安いために国内産木材需要が下がる一方である。
【業務の流れ】	伐採委託事務、負担金等の交付 (負担金請求書の受理、兼命令により支払)
【主な予算費目】	職員手当等、報償費、需用費、役務費、委託料、負担金補助及び交付金
【意見や要望】	特になし

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 28年度実績(28年度に行った主な活動) (DO)		29年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)
間伐、下草刈、作業道下草刈等		間伐・下草刈・作業道下草刈契約等
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由
ア: 間伐面積	ha	【拡充】 森林保育事業(皆伐) 委託料の支出が増となっている。
イ: 市有林保険掛け面積	ha	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
市有林		ア: 市有林面積
		イ:
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
適正に管理し、木材の生産をする		ア: 市有林からの収入金額
		イ:
*③ 成果指標設定の理由と29年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
市有林の適正な管理をすることで良木材生産につながるため成果指標を「市有林からの収入金額」と設定した。目標値については、要間伐、枝打ち等の保育時期を森林施業計画において定めているため、計画に基づき27年度については瀬田裏市有林の間伐面積6.00haのため素材生産量等を考慮して1,080千円とした。		全体計画
		～ 年度
		0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	26年度実績(決算)	27年度実績(決算)	28年度目標(当初予算)	28年度実績(決算)	29年度目標(当初予算)	30年度予定	31年度見込	32年度見込	
① 活動指標	ア	ha	6	6	9.3	9.3	6	6	6	6	
	イ	ha	6	6	6	6	6	6	6	6	
② 対象指標	ア	ha	182.66	182.66	182.66	0	182.66	182.66	182.66	182.66	
	イ										
③ 成果指標	ア	千円	2,532	4,783	1,080	6,333	1,080	1,080	1,080	1,080	
	イ										
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円	6,131	5,632	6,103	7,771	11,495	4,000	4,000	4,000
		繰入金	千円								
	一般財源	千円	1,572	1,660	3,299	1,808	3,629	3,500	3,500	3,500	
	(A) 事業費計	千円	7,703	7,292	9,402	9,579	15,124	7,500	7,500	7,500	
人件費	(A)のうち指定経費	千円	1,791	1,559	1,651	1,891	1,421	1,500	1,500	1,500	
	(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
	正規職員従事人数	人	3	3	3	3	3	3	3	3	
延べ業務時間	時間	135	130	650	235	650	650	0	0		
(B) 人件費計	千円	537	482	2,589	0	2,589	2,589	0	0		
トータルコスト(A)+(B)	千円	8,240	7,774	11,991	9,579	17,713	10,089	7,500	7,500		

事務事業名	市有林保育事業	所属部	事業部	所属課	農政課
-------	---------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部 (CHECK)

*原則は28年度の事後評価、ただし複数年度事業は28年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①28年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/>達成しなかった ⇒【理由】
	②29年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/>目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 林齢が高いので面積による素材生産量及び販売金がある程度決まっている。
有効性評価	③成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/>向上余地がない ⇒【理由】 適正に管理され有効活用がなされている。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/>他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 市有林の維持管理なので、他に手段はない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/>削減余地がない ⇒【理由】 菊池森林組合に事業委託をしており、合志市も組合員である。間伐や下草刈は工法的にも特殊であり事業費の削減は難しいが、5年間ぐらいの一括契約に変更すれば、成果を下げずに事業費を削減できるかもしれない。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/>削減余地がない ⇒【理由】 市有林の間伐等にかかる契約事務が主なので、最低限の人件費である。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/>公平・公正である ⇒【理由】 市有林は市民共有の財産といえるので、その維持管理を行なうことは市民全体の利益となり公平である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/>役割分担は適正である ⇒【理由】 公有財産管理のため適正

3 評価結果の総括 (CHECK)

公有財産の適正管理の観点からも、今後も維持管理をしっかりと行っていきたい。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p>																						